

\$\$\$  
**ブラームスの挫折と栄光の半生** 081213  
\$\$\$

≡ **Program** ≡

実直で、厳しいまでの自己批判的な完全主義者でありました大作曲家、「ヨハネス・ブラームス」は、入念な構想力によって、重厚な作風を築き、交響曲・協奏曲・室内楽・声楽曲など、数多くの作品を残しました。

しかし、完全主義者ゆえ、ひとつの交響曲に断続的ではありますが、20年もかけるなど、自己の納得ができるまで推敲を重ね、作品を完成させたこともありました。

しかし、人生の前半期におきましては、自信を持って完成させた大作も、初演におきまして、その評価が厳しく、苦節を味わい、挫折の時代もありました。

本日は、大作曲家ブラームスの人生前半の、秀逸の作品を、ご鑑賞ください。

～～ ｗｗｗｗ ～～

ヨハネス・ブラームス(1833～1897)

■ **コラール前奏曲とフーガ(おお悲しみよ、おお心の痛みよ) イ短調 作品7**

演奏時間 約7分

クリストフ・アルプレスト(オルガン)

1978年4月 収録

■ **ピアノ協奏曲第1番 作品15 第1楽章**

演奏時間 約21分

カール・ベーム指揮 マウリツィオ・ポリニ(ピアノ)  
ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団

1979年12月 収録

■ **ドイツ・レクイアム 作品45 第6楽章**

演奏時間 約17分

カルロ・マリア・ジュリアーニ指揮 ウイーン歌劇場 合唱団  
ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団

1987年6月 収録

(担当 星野)

- 参考文献 新西洋音楽史(下) D.J.グラウト他 音楽之友社 1998.5 発行  
ブラームスの音楽と生涯 吉田秀和 音楽之友社 2000.10発行  
ブラームス 西原 稔 音楽乃友社 2006.7 発行